

# 広島大学

令和4年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜 I 型

## 出題の意図

総合科学部 総合科学科

科目名：小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

総合型選抜【I型】 出題の意図 (300点満点)

問1 フレイザーとマリノフスキーは、呪術の特徴をどのようにとらえたか。宗教や科学とどう区別したかに触れながら、両者の見解の相違点を説明せよ。  
(180～220字)

\* この問題は、フレイザーとマリノフスキーが呪術の特徴をどのようにとらえたか、講義内容を正しく理解しているかを問うものである。

問2 追加配付資料には人形を用いた呪術として、①「丑(うし)の刻参り」、②「祓(はらえ)」が説明されている。講義内容に基づき、これらの共通点と相違点を分析せよ。ただし、下記のグループ1～3からそれぞれ1つ以上の用語を用いること。(220～260字)

- ・グループ1: ・類感呪術 ・直接呪術 ・反復呪術
- ・グループ2: ・融即 ・マナ ・儀礼
- ・グループ3: ・黒呪術 ・白呪術 ・感染呪術

\* この問題は、講義で説明された種々の用語を理解し、新たに提示された事象を論理的に分析できるかを問うものである。

問3 現代社会における呪術の役割について、講義の内容を参考に、あなたの考えを述べよ。(540～600字)

\* この問題は、講義内容を理解したうえで、自分の考えとその理由を説得力を持って論理的に記述することができるかを問うものである。